



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場会社名 NTN株式会社
 コード番号 6472 URL <http://www.ntn.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東大

(氏名) 高木 重義
 (氏名) 大久保 博司

TEL 06-6443-5001

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|-----|--------|-------|--------|-----|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第2四半期 | 266,599 | 0.2 | 2,141 | △80.0 | △1,546 | — | △1,734 | — |
| 24年3月期第2四半期 | 266,066 | 2.0 | 10,722 | 2.3 | 8,652 | 0.5 | 3,725 | △48.7 |

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △13,048百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △9,475百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期第2四半期 | △3.26 | — |
| 24年3月期第2四半期 | 7.01 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|---------|---|---------|---|--------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | | |
| 25年3月期第2四半期 | 708,436 | | 196,327 | | 25.7 | |
| 24年3月期 | 693,257 | | 212,126 | | 28.4 | |

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 181,896百万円 24年3月期 196,904百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | — | 5.00 | — | 5.00 | 10.00 |
| 25年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 25年3月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

本日(平成24年11月5日)公表した「剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ」をご参照下さい。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|------|-------|-------|------|-------|--------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 530,000 | △2.5 | 7,500 | △63.8 | 500 | △97.3 | △7,000 | — | △13.16 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

本日(平成24年11月5日)公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|---------------|--------|---------------|
| 25年3月期2Q | 532,463,527 株 | 24年3月期 | 532,463,527 株 |
|----------|---------------|--------|---------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|-----------|--------|-----------|
| 25年3月期2Q | 571,008 株 | 24年3月期 | 566,982 株 |
|----------|-----------|--------|-----------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|---------------|----------|---------------|
| 25年3月期2Q | 531,894,016 株 | 24年3月期2Q | 531,635,926 株 |
|----------|---------------|----------|---------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料の目次】

| | |
|------------------------------------|-------|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | P. 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | P. 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | P. 3 |
| (3) 中期経営計画に関する定性的情報 | P. 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | P. 3 |
| (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | P. 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | P. 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | P. 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | P. 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | P. 6 |
| (四半期連結損益計算書) | P. 6 |
| (四半期連結包括利益計算書) | P. 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | P. 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | P. 9 |
| (四半期連結貸借対照表関係) | P. 9 |
| (5) 継続企業の前提に関する注記 | P. 9 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | P. 9 |
| (7) セグメント情報 | P. 9 |
| 4. 補足情報 | P. 10 |
| (1) 事業形態別損益 | P. 10 |
| (2) 地域別売上高 | P. 10 |
| (3) 欧州委員会の立入検査等について | P. 10 |
| (4) 米国での民事訴訟について | P. 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）における日本経済は、円高による輸出の低迷や世界経済の減速などを背景に、回復の動きに足踏みがみられます。海外経済につきましては、全体として減速感が広がっており、特に欧州の財政の先行き不安の高まりなどを背景とした金融面への影響や、中国の経済成長率の鈍化が懸念されます。

このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は、266,599百万円（前年同期比0.2%増）となりました。損益につきましては、営業利益は2,141百万円（前年同期比80.0%減）、経常損失は1,546百万円（前年同期は経常利益8,652百万円）となりました。なお、特別利益として投資有価証券売却益1,593百万円、特別損失として投資有価証券評価損2,280百万円を計上した結果、四半期純損失は1,734百万円（前年同期は四半期純利益3,725百万円）となりました。

セグメントの業績につきましては、以下のとおりであります。

①日本

販売につきましては、自動車市場向けは東日本大震災の影響による減産からの回復により全般的に増加しました。産業機械市場向けは、一般機械向けや客先の中国向け需要の減退により建設機械向けなどが減少し、補修・市販市場向けも減少しました。この結果、売上高は167,056百万円（前年同期比2.3%増）となり、セグメント利益は販売増加の効果などにより4,170百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

②米州

販売につきましては、自動車市場向けは客先の需要拡大により全般的に増加し、産業機械市場向けも増加しました。補修・市販市場向けは自動車補修向け客先の需要減退などにより減少しました。この結果、売上高は為替の影響はありましたが66,230百万円（前年同期比17.4%増）となりました。セグメント損益につきましては、自動車市場向け販売の増加に伴う生産ラインの負荷増による特別な費用の増加などにより3,850百万円のセグメント損失（前年同期は228百万円のセグメント利益）となりました。

③欧州

販売につきましては、財政不安を背景とした域内経済の鈍化により自動車市場向け、産業機械市場向け、補修・市販市場向けともに減少しました。この結果、売上高は為替の影響もあり64,559百万円（前年同期比13.5%減）となり、セグメント利益は販売減少の影響などにより422百万円（前年同期比83.8%減）となりました。

④アジア他

販売につきましては、自動車市場向けは東日本大震災及びタイ洪水の影響による減産からの回復及び客先の需要拡大により全般的に増加しました。産業機械市場向けは、中国、その他アジア地域で客先需要が減退したことにより減少し、補修・市販市場向けも減少しました。この結果、売上高は為替の影響もあり41,333百万円（前年同期比1.0%減）となり、セグメント利益は生産会社の操業立上げなどの一時費用の増加により645百万円（前年同期比77.0%減）となりました。

事業形態別の業績につきましては、以下のとおりであります。

①自動車市場向け

客先需要が減退した欧州を除く全地域で販売が増加し、売上高は174,665百万円（前年同期比6.9%増）となりました。営業損益につきましては、為替の影響や米州での販売の増加に伴う生産ラインの負荷増による特別な費用の増加などにより6,171百万円の営業損失（前年同期は1,496百万円の営業損失）となりました。

②産業機械市場向け

客先需要の減退により販売が減少し、売上高は47,577百万円（前年同期比12.9%減）となり、営業利益は963百万円（前年同期比58.9%減）となりました。

③補修・市販市場向け

客先需要の減退により販売が減少し、売上高は44,356百万円（前年同期比7.7%減）となり、営業利益は7,349百万円（前年同期比25.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

流動資産は前連結会計年度末に比べ10,237百万円(2.8%)増加し、372,555百万円となりました。これは主に有価証券の増加24,000百万円、受取手形及び売掛金の減少13,202百万円によります。固定資産は前連結会計年度末に比べ4,942百万円(1.5%)増加し、335,881百万円となりました。これは主に有形固定資産の増加7,765百万円によります。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ15,179百万円(2.2%)増加し、708,436百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ1,570百万円(0.6%)増加し、283,863百万円となりました。これは主に1年内償還予定の社債の増加10,000百万円、支払手形及び買掛金の減少7,157百万円によります。固定負債は前連結会計年度末に比べ29,408百万円(14.8%)増加し、228,245百万円となりました。これは主に長期借入金の増加39,680百万円、社債の減少10,000百万円によります。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ30,977百万円(6.4%)増加し、512,108百万円となりました。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ15,799百万円(7.4%)減少し、196,327百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定の減少8,627百万円、利益剰余金の減少4,395百万円によります。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動の結果得られた資金は10,404百万円(前年同期比5,749百万円、123.5%の増加)となりました。主な内訳は減価償却費16,443百万円、売上債権の減少額11,403百万円の収入に対して、たな卸資産の増加額10,100百万円、仕入債務の減少額5,892百万円の支出であります。

投資活動の結果使用した資金は32,795百万円(前年同期比7,053百万円、27.4%の増加)となりました。主な内訳は有形固定資産の取得による支出33,453百万円であります。

財務活動の結果得られた資金は46,979百万円(前年同期比36,545百万円、350.2%の増加)となりました。主な内訳は長期借入金の増加額49,119百万円の収入に対して、配当金の支払額2,659百万円の支出であります。

これらの増減に換算差額の増加額1,511百万円及び新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額214百万円を算入しました結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は78,919百万円となり、前連結会計年度末に比べ26,314百万円(50.0%)の増加となりました。

(3) 中期経営計画に関する定性的情報

当社グループは昨年4月にスタートした3年間の中期経営計画「躍進2013」の達成に向け、諸施策を推進しておりますが、世界経済の減速を背景とした客先需要の減退や円高の影響など厳しい事業環境が続くと見込まれます。

このような環境のもと、財務体質の抜本的な改善を目的とした構造改革に着手し、中期経営計画「躍進2013」の見直しを進めております。詳細内容が纏まり次第速やかに、新たな中期経営計画として開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ145百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 39,360 | 43,538 |
| 受取手形及び売掛金 | 119,494 | 106,292 |
| 有価証券 | 10,000 | 34,000 |
| 商品及び製品 | 85,083 | 88,617 |
| 仕掛品 | 42,682 | 41,883 |
| 原材料及び貯蔵品 | 27,341 | 28,057 |
| 繰延税金資産 | 4,355 | 5,129 |
| 短期貸付金 | 6,331 | 3,952 |
| その他 | 28,300 | 21,657 |
| 貸倒引当金 | △632 | △573 |
| 流動資産合計 | 362,318 | 372,555 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 68,380 | 69,740 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 129,516 | 131,543 |
| その他（純額） | 67,785 | 72,163 |
| 有形固定資産合計 | 265,682 | 273,447 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 278 | 428 |
| その他 | 4,262 | 4,881 |
| 無形固定資産合計 | 4,541 | 5,309 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 37,036 | 31,186 |
| 繰延税金資産 | 21,865 | 24,157 |
| その他 | 1,971 | 2,004 |
| 貸倒引当金 | △156 | △224 |
| 投資その他の資産合計 | 60,716 | 57,124 |
| 固定資産合計 | 330,939 | 335,881 |
| 資産合計 | 693,257 | 708,436 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 114,216 | 107,059 |
| 短期借入金 | 116,131 | 120,693 |
| 1年内償還予定の社債 | — | 10,000 |
| 未払法人税等 | 2,677 | 1,431 |
| 役員賞与引当金 | 93 | 10 |
| その他 | 49,175 | 44,668 |
| 流動負債合計 | 282,293 | 283,863 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 10,000 | — |
| 長期借入金 | 145,846 | 185,526 |
| 退職給付引当金 | 33,018 | 32,589 |
| 製品補償引当金 | 778 | 1,036 |
| その他 | 9,192 | 9,093 |
| 固定負債合計 | 198,837 | 228,245 |
| 負債合計 | 481,131 | 512,108 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 54,346 | 54,346 |
| 資本剰余金 | 67,369 | 67,369 |
| 利益剰余金 | 113,595 | 109,200 |
| 自己株式 | △514 | △515 |
| 株主資本合計 | 234,797 | 230,402 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,396 | 1,186 |
| 為替換算調整勘定 | △37,262 | △45,889 |
| 退職給付に係る調整額 | △4,026 | △3,801 |
| その他の包括利益累計額合計 | △37,892 | △48,505 |
| 少数株主持分 | 15,222 | 14,431 |
| 純資産合計 | 212,126 | 196,327 |
| 負債純資産合計 | 693,257 | 708,436 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) |
|-------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 266,066 | 266,599 |
| 売上原価 | 220,268 | 229,041 |
| 売上総利益 | 45,797 | 37,557 |
| 販売費及び一般管理費 | 35,075 | 35,416 |
| 営業利益 | 10,722 | 2,141 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 133 | 243 |
| 受取配当金 | 410 | 268 |
| 持分法による投資利益 | 503 | 329 |
| その他 | 1,177 | 1,232 |
| 営業外収益合計 | 2,225 | 2,073 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,659 | 1,902 |
| 為替差損 | 986 | 1,786 |
| その他 | 1,648 | 2,073 |
| 営業外費用合計 | 4,295 | 5,761 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 8,652 | △1,546 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 1,593 |
| 特別利益合計 | — | 1,593 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 740 | 2,280 |
| 地震関連費用 | 743 | — |
| 事業再編費用 | 580 | — |
| 固定資産売却損 | 107 | — |
| 特別損失合計 | 2,171 | 2,280 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 6,480 | △2,233 |
| 法人税等 | 2,196 | △849 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△) | 4,284 | △1,383 |
| 少数株主利益 | 559 | 351 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 3,725 | △1,734 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日) |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△) | 4,284 | △1,383 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,586 | △2,209 |
| 為替換算調整勘定 | △12,592 | △10,203 |
| 退職給付に係る調整額 | 201 | 224 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 218 | 523 |
| その他の包括利益合計 | △13,759 | △11,665 |
| 四半期包括利益 | △9,475 | △13,048 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △8,980 | △12,347 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △495 | △701 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 6,480 | △2,233 |
| 減価償却費 | 16,721 | 16,443 |
| のれん償却額 | — | 78 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 21 | △16 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △106 | △82 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 435 | 197 |
| 製品補償引当金の増減額(△は減少) | 11 | 271 |
| 退職給付制度改定に伴う未払金の増減額(△は減少) | △164 | △123 |
| 受取利息及び受取配当金 | △543 | △511 |
| 支払利息 | 1,659 | 1,902 |
| 為替換算調整差額/為替差損益(△は益) | △1,117 | △899 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △503 | △329 |
| 固定資産売却損益(△は益) | 107 | — |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | — | △1,589 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 740 | 2,280 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △3,643 | 11,403 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △12,394 | △10,100 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △1,157 | △5,892 |
| その他 | 3,167 | 1,420 |
| 小計 | 9,713 | 12,219 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,549 | 1,147 |
| 利息の支払額 | △1,671 | △1,839 |
| 法人税等の支払額 | △4,936 | △1,124 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,655 | 10,404 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △2,842 | △1,644 |
| 定期預金の払戻による収入 | 2,352 | 1,690 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △22,361 | △33,453 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △228 | △1,291 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 1,701 |
| 持分法適用関連会社株式の取得による支出 | △2,300 | — |
| 子会社株式の取得による支出 | △473 | △305 |
| 子会社の清算による収入 | 112 | — |
| 短期貸付金の純増減額(△は増加) | 63 | 384 |
| その他 | △64 | 122 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △25,742 | △32,795 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 4,414 | 735 |
| 長期借入れによる収入 | 9,360 | 53,316 |
| 長期借入金の返済による支出 | △2,418 | △4,197 |
| 少数株主への株式の発行による収入 | 2,044 | 230 |
| 配当金の支払額 | △2,658 | △2,659 |
| リース債務の返済による支出 | △95 | △124 |
| その他 | △213 | △321 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 10,434 | 46,979 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 2,013 | 1,511 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △8,639 | 26,099 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 40,081 | 52,605 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 107 | 214 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 31,549 | 78,919 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 偶発債務

当社は、ベアリング（軸受）の国内取引に関して、他の事業者と共同して販売価格の引上げを決定した疑いがあるとの理由で、平成23年7月に公正取引委員会の立入検査を受け、平成24年4月に東京地方検察庁特別捜査部及び公正取引委員会による捜索を受けました。その後、平成24年6月に当社及び当社役員ら（当時）が独占禁止法違反行為を被疑事実として、公正取引委員会から告発され、東京地方検察庁から起訴されました。現在は、公正取引委員会による行政調査が行われております。

今後、課徴金などによる損失が発生する可能性があります。現時点ではその影響を合理的に見積ることが困難であり、当社グループの経営成績及び財政状態に与える影響は明らかではありません。

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|-----------------------|---------|--------|--------|--------|---------|--------------|-----------------------|
| | 日本 | 米州 | 欧州 | アジア他 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 99,917 | 54,857 | 72,851 | 38,438 | 266,066 | — | 266,066 |
| セグメント間の内部売上高又は 振替高 | 63,422 | 1,571 | 1,810 | 3,295 | 70,100 | (70,100) | — |
| 計 | 163,339 | 56,429 | 74,662 | 41,734 | 336,167 | (70,100) | 266,066 |
| セグメント利益（営業利益） | 4,042 | 228 | 2,601 | 2,805 | 9,678 | 1,043 | 10,722 |

(注) 1. 調整額は、すべてセグメント間取引消去によるものであります。

2. 報告セグメントに属する主な国又は地域……………米州 : アメリカ、カナダ、中南米
欧州 : ドイツ、フランス、イギリス等
アジア他 : 中国、タイ、インド等

II 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|----------------------------|---------|--------|--------|--------|---------|--------------|-----------------------|
| | 日本 | 米州 | 欧州 | アジア他 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 101,530 | 64,675 | 62,581 | 37,812 | 266,599 | — | 266,599 |
| セグメント間の内部売上高又は 振替高 | 65,526 | 1,555 | 1,977 | 3,521 | 72,580 | (72,580) | — |
| 計 | 167,056 | 66,230 | 64,559 | 41,333 | 339,180 | (72,580) | 266,599 |
| セグメント利益（営業利益又は営業 損失（△）） | 4,170 | △3,850 | 422 | 645 | 1,387 | 753 | 2,141 |

(注) 1. 調整額は、すべてセグメント間取引消去によるものであります。

2. 報告セグメントに属する主な国又は地域……………米州 : アメリカ、カナダ、中南米
欧州 : ドイツ、フランス、イギリス等
アジア他 : 中国、タイ、インド等

4. 補足情報

(1) 事業形態別損益

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

（単位：百万円）

| | 自動車市場向け | 産業機械市場向け | 補修・市販市場向け | 合計 |
|---------------|---------|----------|-----------|---------|
| 外部顧客への売上高 | 163,400 | 54,618 | 48,047 | 266,066 |
| 営業利益又は営業損失（△） | △1,496 | 2,343 | 9,874 | 10,722 |

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

（単位：百万円）

| | 自動車市場向け | 産業機械市場向け | 補修・市販市場向け | 合計 |
|---------------|---------|----------|-----------|---------|
| 外部顧客への売上高 | 174,665 | 47,577 | 44,356 | 266,599 |
| 営業利益又は営業損失（△） | △6,171 | 963 | 7,349 | 2,141 |

(2) 地域別売上高

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

（単位：百万円）

| 日本 | 米州 | 欧州 | アジア他 | 合計 |
|--------|--------|--------|--------|---------|
| 91,548 | 58,160 | 69,065 | 47,291 | 266,066 |

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

（単位：百万円）

| 日本 | 米州 | 欧州 | アジア他 | 合計 |
|--------|--------|--------|--------|---------|
| 93,283 | 67,775 | 59,274 | 46,266 | 266,599 |

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 地理的近接度により、複数の国又は地域を括った地域に区分しております。

3. 各区分に属する主な国又は地域……………米州 : アメリカ、カナダ、中南米

欧州 : ドイツ、フランス、イギリス等

アジア他 : 中国、タイ、インド等

(3) 欧州委員会の立入検査等について

当社の欧州の連結子会社は、平成23年11月にベアリング（軸受）の取引に関してEU競争法違反の疑いがあるとの理由で、欧州委員会の立入検査を受けました。また、当社の米国の連結子会社は、平成23年11月にベアリング（軸受）の取引に関する情報の提供を求める召喚状を米国司法省から受領いたしました。さらに、当社の韓国の連結子会社は、平成24年7月にベアリング（軸受）の取引に関して独占規制及び公正取引に関する法律違反の疑いがあるとの理由で、韓国公正取引委員会の立入検査を受けました。当社グループといたしましては、こうした事態を厳粛かつ真摯に受け止め、調査に協力しております。

(4) 米国での民事訴訟について

当社及び当社の米国の連結子会社は、他の事業者と共同してベアリング（軸受）の販売価格の引上げを決定したとして、米国において複数の民事訴訟（クラスアクション）の提起を受けております。